

# ひとひらレポート2021 No.6



URL : <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/> E-mail : [onedropbangladesh@yahoo.co.jp](mailto:onedropbangladesh@yahoo.co.jp)

ブログ : <https://www.facebook.com/OneDropBangladesh/>

このレポートは支援者の皆さんへお届けするワンドロップの2021年度年間報告書です。



コロナ禍での補習授業風景 5年生

2021.9

2022年もコロナで開けました。本当にいつ終息してくれるのでしょうか。でも、「止まない雨はない」と信じて、今できる支援活動を継続しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2021年度のワンドロップの活動

### 〈日本国内での活動〉

コロナ感染拡大防止のためにバザー、カレー販売イベントは2回しか実施できませんでした。しかし、活動報告写真展は例年通り実施できました。多くの方にワンドロップの活動が継続しているのを知っていただきました。同じ会場で毎年同じ時期に報告をし続けるのが支援者の皆さんへの報告であると同時に、地域の皆さんへの啓発になっていると感じています。2021年秋のトライやる週間では今年も小野中の生徒を6人受け入れて、ワンドロップの支援者のみなさんの熱い想いを中学生たちに伝えました。(添付資料「2021年の活動」を参照ください)

### 〈現地での活動〉

(1) コロナ禍での緊急食糧支援第7回を実施しました。

2020年3月から学校が閉鎖され、経済が落ち込んでいます。そんな中、緊急食糧支援が現地スタッフのタイムリーな要請で実施されています。2021年は5月に第7回の緊急食糧支援が実施されました。

久しぶりに見る子どもたちが痩せているのが痛ましい限りでした。

(2) 1年半の学校閉鎖が解かれ2021年9月に再開しました。ランチも再開しました。

コロナ禍のいろいろな制限の中、現地との連絡は今まで以上に密になっているように思います。それは、バングラデシュの現地スタッフたち、先生たちとのネット会議から感じます。ロックダウン中でも、日本から現地の様子を心配し、子どもたちへの教育活動をできるだけ続けるようにと訴えてきた気持ちは、現地の人々に十分伝わっていると思います。学校閉鎖中には、先生たちが生徒の家を訪問したり、補習授業をしたりして、子どもたちが学校から離れないように手立てをしてもらいました。授業に参加した生徒たちには、少しでも食糧を提供し、厳しい生活環境に耐えてくれるように配慮しました。

残念なことに、コロナ前は98名在籍だった生徒たちは親の事情で引っ越したり、勉強をやめて仕事に就いたりして12月末には80名になっていました。

(3) 第2期生の卒業

バングラデシュの学校は1月始まりで12月に進級、卒業テストがあって終了します。

2021年は17名の生徒に修了証が出ました。去年同様、まだ卒業式というものをしていません。卒業生たちは、修了証を持って中学校に入学申請します。ところが、7名の生徒が修了証を受け取りに来ませんでした。かれらは進学をあきらめたのです。その知らせを聞いた時、無力感でいっぱいになりました。このレポートの見出しの写真の生徒たちが去年の5年生です。12月に卒業した第2期生です。

(3) 新1年生の入学と創立記念日(1月23日)に向けて

生徒数が減少したこと、2期生の7名が中学校へ行かない選択をしたことなどを聞くにつけ、現地へ飛んでいけないまま鬱々としていた矢先、12月末には新1年生20名の入学が決まりました。思えば、2021年入学の1年生(今の2年生)にも、新1年生にも出会ったことがないので、例年のスタディツアーのメイン行事の入学式ができていません。制服もなく、カバンもなく、キャンディレイもなく、全校生に拍手で入学を迎えられることもなく、普段着のまま教室で座っています。



新しい教科書が配布されました(2021. 12)



現地のラブリー先生が伝えてくれました。「今の1年生、2年生はまだワンドロップの小学校に入学した実感がありません。だれも祝って来ていません。日本からのサポーターたちが今までしてくれたことがどんなに大切な行事だったかがよくわかりました。」と。

その言葉を聞いた時、なんとかしなくてはと思いました。できないことを憂えて、無力感でくよくよしてはいられません。今学校に来ている子どもたちにしてやれることをしなければ、と気持ちを切り替えることにしました。

1月23日はマジウンダーワンドロップ小学校の創立記念日です。7周年になります。私たち日本人が行かなくても、先生方とスタッフで入学式をやってもらいたい。

即、先生方とタリクさん、ヤスミンさんに連絡しました。「運動会と入学式をしてください」と。

オミクロン株の感染が拡大している今、学校が再び閉鎖になるかもしれない今だから、子どもたちに楽しい1日を過ごしてほしい。運動会を開催します。入学式をします。キャンディレイも作ってもらいます。教室を飾り付けます。くす玉もできるでしょうか。いいえ、私たちがしたことを真似しなくても、現地のかれらでできることを考えてやってもらうのがいいですね。

今、着々とその準備が進んでいます。わくわくです。

## <今ワンドロップが取り組んでいること>

### (1) 冬用の毛布

12月、1月はバングラデシュでは冬です。朝夕ぐんと冷えます。土間で寝ているかれらにはこたえます。毛布を配布してほしいと現地スタッフから連絡がありました。話し合いの中で「冬の期間の毛布の貸し出し」という案が決まりました。毎年、毛布が必要なのは2か月間くらいです。バングラデシュは暑い国です。だから、毛布を使わない時期は回収して次年度のために保管します。現地のスタッフは、借りたら使い方が乱暴だとか返却しないとかな否定的なことを言います。しかし、私たちとしては、次に使う人のためにきれいにして返却しようと心がける気持ちを養って欲しいのです。

毛布購入の準備をしているうちに、気温が上がってきたと報告があり、毛布の配布は現在止まっています。しかし、毛布を100枚購入し、学校の備品として保有し、寒い時期に備えます。



### (2) 卒業生のアルバムの作成

第1期生の卒業アルバムは完成して大事に保管しています。第2期生のアルバムも内容が決まり、発注する段階にきています。スタディツアーが実施された時にあらためて卒業式を挙行し、手渡します。

(左の写真は第1期生の卒業アルバムです)

### (3) ライン配信とホームページ、ブログの更新

活動のお知らせをライン配信でしています。まだ未登録の方はホームページから登録をお願いいたします。お知らせの配信のみです。みなさんに負担がかかることはありません。

ブログが移転しています。フェイスブックページに現地情報などをアップしています。このページはフェイスブックアカウントがなくても見るすることができます。従来のフェイスブックグループはそのままあります。ホームページは2022年度版に少しずつデータを更新していきます。

#### (4) インターネットを利用した募金活動を模索しています



コロナが長期化し、イベントが激減している今、新しい募金活動を展開していかなければならないと考えています。

〈クッキーセットを販売しています〉

つい最近、「バンガラ小学校の創立記念日とクッキーセット」をライン配信しました。フェイスブックページのブログにも載せました。この取り組みは、ワンドロップの支援者の方が、知り合いのパティシエさんにクッキー作ってもらい、それを販売し、購入代金から製作費を差し引いた残りを学校の運営費として寄付するというものです。

<https://onedrop.hp.peraichi.com/39project>

また、支援者のみなさんの中には素晴らしい手作り作品をイベントで販売し、その売り上げを寄付してくださった方もいらっしゃいます。その作品もインターネットで紹介すれば、イベントに行けなくても、作品を見て購入し、それが募金につながればうれしいですね。

#### <終わりに>

スタディツアーでバンガラデシュに行けなくなって2年が過ぎようとしています。この2年間は決して空白ではありませんでした。行かなくても、学校では子どもたちが勉強しており、ランチを食べています。現地スタッフや学校の先生たちは生徒のために毎日働いています。このことは、すごいなあと思います。

日本では、イベントが無くなり、カレーや物品の販売ができなくなりました。それでも、ワンドロップの活動を気にかけてくださるサポーターの方々が写真展に来てくださいます。ホームページを見てくださいます。そして、毎年、支援の寄付を送ってくださいます。ワンドロップの活動が根付いてきているのを感じます。

会計はいつも自転車操業ですが、よく持っているなあと思います。みなさんに支えられているのを強く強く感じる日々です。

ワンドロップの活動を絶やしてはいけないと考えてくれているサポーターの方がいらっしゃいます。どうすれば支援者を増やすことができるのか、募金活動を広めることができるのかを一生懸命考えて、行動してくれました。パンフレットカードを作ってコミセンやお店に置いてくれたり、クッキーを作って販売してくれたり、インスタグラムでワンドロップを紹介したり、、、、そのような新しい取り組みも始まっています。いっしょに知恵を出し合いながら、ワンドロップを続けていきましょう。

わたしたちの活動はとても小さいものですが、現地の子どもたちにとっては本当に必要なものだと思います。

OneDrop(バングラデシュ教育支援の会)

代表 大西 登志子

ワンドロップは2010年12月「バングラデシュに楽しい学校を作ろう」という目的で集まった任意団体です。2011年コミッタを学校建設予定地と決め、5年後2016年1月に小さな平屋の学校が完成しました。近隣にすむ5歳～7歳の貧しいけれど意欲のある20名が入学しました。2020年には1年から5年生までそろった私立小学校として認可された学校になりました。校舎も3階建てに増築されました。そして、2020年末、第一期生が巣立っていきました。2021年末第二期生も巣立っています。どんなに生徒たちの生活環境が貧しく過酷であろうと、この学校では学ぶ喜びを感じることができます。その喜びは生きる希望につながります。

◎支援者の皆さまへ

ワンドロップは法人格を持たない「任意団体」です。

お送り下さった支援金については税金控除の対象となりません。予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

◎未使用の切手、書き損じハガキ(官製ハガキ・年賀ハガキ)をお送りください。引き出しの中などに眠っているものをお送りいただければ幸いです。支援者様へのお手紙の発送に使わせていただきます。

◎メールやラインでの配信をご希望の方はご連絡ください。

お問い合わせ

代表 大西登志子(Toshiko Onishi)

Web: <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/>

Mail: [onedropbangla@yahoo.co.jp](mailto:onedropbangla@yahoo.co.jp)

Blog: <https://www.facebook.com/OneDropBangladesh>

Tel: 090-6603-6721

## 添付資料

### 《2021年の活動 コロナとの根くらべ》

2021年1月

- ・兵庫教育大学附属中学校の総合学習でワンドロップの活動を国際支援の授業で取り入れています(2020年11月～2021年3月)
- ・小野市庁舎ウェルカムギャラリーにて OneDrop 活動報告写真展を開催しました。(2020年12月19日～2021年1月16日)

2021年3月

- ・小野市立河合中学校の人権教育講演会でワンドロップのお話をしました(3月4日)
- ・加東市市役所玄関ホールで活動報告写真展をしました。(3月5日～3月16日)

2021年4月

- ・三木市「みっきいホール」で活動報告写真展をしました。(4月11日～14日)

2021年5月

- ・第7回緊急食糧支援を実施しました(5月9日)

2021年7月

- ・きすみのマルシェ(小野市くわなに温泉)で出店し、カレーを販売しました(7月4日)
- ・加古川びいぷらすにてワンドロップ活動報告写真展をしました(7月16日～21日)
- ・加古川びいぷらすにてワンドロップ近況活動報告会を実施しました(7月18日)

2021年9月

- ・東播磨生活創造センターかこむ(加古川)でワンドロップ活動報告写真展をしました(9月1日～4日)

2021年10月

- ・コミセンおのでワンドロップ活動報告写真展をしました(10月11日～23日)

2021年11月

- ・小野中のトライやるで6人の生徒がワンドロップの活動を体験しました。(11月14日～18日)
- ・くわなに温泉きすみのの郷にて「きすみのマルシェ」に出店しました(11月14日)
- ・小野市立図書館にてワンドロップ活動報告写真展を実施しました(11月26日～12月24日)

2021年12月

- ・小野市役所内ウェルカムギャラリーにてワンドロップの活動報告写真展を実施しました(12月25日～2022年1月8日)